

# I 平成28年度 公益財団法人 埼玉県消防協会事業計画

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

事業名	計画の概要
<b>1 会議</b>	
(1) 正副会長会議(年間随時)	・協会運営にかかる全般事項について、幹部役員で審議する。
(2) 理事会(2回 定時5/13金・3月)	・協会運営に関する審議事項を議決する。
(3) 評議員会(2回 定時5/30月・3月)	・予算、決算、事業計画等協会運営に関する審議事項を議決する。
(4) 監事監査(5/6金)	・決算及び事業執行にかかる監査を行う。
(5) 表彰審査委員会(9/9金)	・定例表彰にかかる上申について審査する。
(6) 支部事務担当者会議(未定)	・支部事務担当者への事業説明等を行う。
(7) 第29回埼玉県消防操法大会運営委員会等(5回 6~8月)	・大会運営にかかる運営委員、審査員会及び出場隊打合せを行う。
(8) 消防関係会議 ① 日本消防協会役員会議(6/17 金・3/7 火) ② 関東甲信地区消防協会会議(千葉県 6/8水~9木) ③ 都道府県事務局長会議(2/28 火) ④ 関東甲信地区消防協会事務局長会議(群馬県 11/17木~18金)	・日本消防協会代議員会への出席。 ・協会会議を輪番により開催する。 ・日本消防協会事務局長会議への出席。 ・関東甲信地区消防協会会議への出席。
<b>2 消防振興事業</b>	
(1) 消防操法大会事業 ① 第29回埼玉県消防操法大会(県消防学校 8/20土 予備日8/21日) ② 第25回全国消防操法大会(長野県長野市 10/14 金)	・消防団員の技術向上と士気の高揚を図り、地域における消防活動の充実発展に寄与することを目的し、県と共催で開催する。 ・県大会の優勝隊が、県代表として全国大会に出場する。
(2) 定例表彰事業 ① 第68回埼玉県消防協会定例表彰式(さいたま市民会館うらわ 10/27木) ② 在職中死亡した消防団員(特例表彰) ③ 第69回日本消防協会定例表彰式(日消ホール 3/7 火) ④ 埼玉県地方自治功労賞(埼玉新聞社・消防部門)	・地域住民を守る消防団、消防団員に対する功労等について表彰するとともに、活動を支える家族、及び地域における防火思想の普及啓発や、火災予防に対する取組みに功績のある一般民間人並びに事業所等を表彰し、消防防災思想の普及徹底を図る。 ・日本消防協会定例表彰及び地方自治功労賞への推薦。
(3) 慰霊祭事業 ① 埼玉県消防協会消防殉職・殉難者慰霊祭(県消防学校 11/21 月) ② 第35回全国消防殉職者慰霊祭(日消ホール 9/29 木)	・地域住民の安全のため、消防活動中に殉職した消防職団員、及び消防協力者の御霊に対し追悼の意を表し、御遺族参列のもと式典を挙げる。
(4) 消防団員研修事業 ① 消防団員基礎教育研修(5回 12/17 2/4・25 3/4・11 いづれも土) ② 消防団員幹部研修(初級1/13 金・14 土 分団1/21土 現場3/17金・18土) ③ 住宅用火災警報器設置推進事業消防団指導員研修(2回 9/・) ④ 日本消防協会研修 ア第43回消防団幹部特別研修(1/10 火~13 金) イ第16回消防団幹部候補中央研修(男性の部 2/1水~3金) (女性の部 2/15水~17金)	・消防組織法による消防学校教育訓練基準により、消防学校と連携し、入団3年以内の新入消防団員を対象とした基礎教育研修及び幹部(初級・中級)を対象とした研修を実施する。 ・住宅用火災警報器設置推進のための団員研修を実施する。 ・日本消防協会主催の消防団幹部特別研修に県内消防団幹部を、また、消防団幹部候補中央特別研修に県内の比較的若い男女団員を派遣する。
(5) 普及啓発・活性化事業等 ① 火災予防啓発活動 ・防火啓発用ポスターの配布(秋・春季火災予防運動週間) ② 防災講演会の開催(2回開催 日程未定)  ③ 防火防災指導者人材バンク事業  ④ 女性消防団員DIG訓練(9/ 土) ⑤ 埼玉県女性消防団員大会(12/10土 三郷市文化会館)  ⑥ 全国女性消防団員活性化北海道大会(6/3金 札幌市)  ⑦ 消防団員確保・活性化キャンペーンの実施	・火災予防週間に際し、各支部を通じて県内各所に防火ポスターを配布する。 ・一般県民を対象に講演会を開催し、地域における消防団活動の周知を図るとともに、身近に役立つ防災知識等の普及啓発を図る。 ・消防職団員等OBの知識と経験を活用し、地域防災の担い手として育成する人材バンクを管理運営し、地域防災力の強化を図る。 ・消防団員の知識規律の向上と活動力の強化を図る。 ・大会を通じ、県内における女性消防団員の活動を知り、女性消防団員の活性化に資する。 ・研修を通じ、全国各地における女性消防団員の活動を知り、県内女性消防団員の活性化に資する。 ・消防団活動状況等、消防団のPRを行い、広く情報を提供する。
(6) 福利厚生事業 ① 殉職した消防職団員に対する弔慰 ② 育英支援金等の給付 ③ 消防団員福祉共済制度 ④ 消防団員健康増進事業 ⑤ 消防個人年金等事業	・職務上死亡または罹災した消防職団員及び消防協力者に対する弔慰金、見舞金の給付及び殉職消防職団員の子に対する、育英支援金の給付等を行う。 ・日本消防協会による、消防職団員を対象とした福祉共済制度等の加入給付手続きを行い、本人及びその家族の生活を守り、公務による事故の防止に資するため、加入者の福祉増進を図るほか、健康器具の配布等、健康増進事業及び個人年金制度への加入促進を行う。
(7) 日本消防協会事業 ① 雑誌「日本消防」の配布 ② 消防関係資料の調査回答 ③ 女性消防団員制服交付事業 ④ 防災車両交付事業	・日本消防協会発行の機関誌「日本消防」の配布。 ・消防団に関わる関係資料作成のための調査依頼への協力。 ・制服交付事業について、県内各支部へ通知し交付申請を行う。 ・車両交付事業について、県内各支部へ通知し交付申請を行う。
<b>3 関係機関への協力</b>	
(1) 埼玉県消防長会	・埼玉県消防長会事業の推進について協力する。
(2) 全日本消防人共済会	・全日本消防人共済会事業の推進について協力する。
(3) コミュニティづくり県民運動推進協議会	・県のコミュニティづくり県民運動の推進について協力する。
(4) 埼玉県交通安全対策協議会	・県の交通安全対策の推進について協力する。